

REPUBLIQUE DU SENEGAL
MINISTERE DE LA JEUNESSE
CENTRE DEPARTEMENTAL DE LA JEUNESSE
DE TIVAOUANE Tel 339551519/ 775775502

À Monsieur le responsable de l'université de KANAGAWA

Objet : lettre de remerciement

Messieurs, mesdames

Le directeur et l'ensemble du personnel du centre départemental d'éducation populaire et sportive de la ville de Tivaouane au Sénégal, vous remercient pour le don de livre que vous avez mis à notre disposition pour permettre de renforcer l'éducation des jeunes de la ville en lecture et leur apprendre la culture et l'histoire du Japon, pays frère du Sénégal.

A travers ma voix tous les jeunes de la ville de Tivaouane vous disent merci, tout en souhaitant renforcer la coopération avec vous dans d'autres activités de jeunesse.

Veillez recevoir chers donateurs les expressions de nos sentiments cordiaux.

Le directeur du CDEPS

Bilal FALL



寄贈先からのお礼状（翻訳）

拝啓

ティバワンヌ県国民スポーツ教育センター所長および関係者一同より、この度の絵本の寄贈に感謝いたします。頂いた絵本を活用し、当市の青少年の教育分野における環境をより良くし、子どもの読書活動や日本文化、その他の学習へ寄与する事を期待しています。

今後の青少年支援における両国の協力関係のさらなる発展を祈念しつつ、ティバワンヌのすべての青少年を代表して、センター長よりこの度のご協力に重ねて御礼申し上げます。

敬具

ティバワンヌ県国民スポーツ教育センター
センター長 ビラル・ファール

神奈川大学 産学連携事業 「本の架け橋プロジェクト」 様

青年海外協力隊 2016年度3次隊

セネガル 青少年活動

小湊慎吾

はじめまして、私はセネガルのティバワンヌという町で青少年に関わる活動をしています。小湊と申します。この度は絵本を提供頂き本当にありがとうございます。

寄贈先でもある私の配属先は「県立国民スポーツ教育センター」といいます。衛生や健康、余暇支援、就職など幅広い分野で青少年の支援を行っている施設です。私はこの配属先を中心に、近隣の小学校や幼稚園や青少年団体に出向き図工や体育等のアクティビティを紹介しながら青少年の余暇支援を行っています。

セネガルの公用語はフランス語で、小学校からの授業もフランス語で行われますが私の任地では普段は現地語（ウォロフ語といいます）を使って生活しています。また学校や教員の数も少なく、クラス全員に細かい指導ができるとは言い難い環境です。そのためフランス語の理解が遅れるとすべての教科で取り残され、中学校に上がれないという子どももかなりいるのが現状です。

絵本は生活言語と学習言語のギャップを補い、さらに学習に必要な理解力や集中力、想像力等を育むことができ、大変重要だと感じていますが、セネガルではまだまだ一般的ではなく、首都ダカール以外ではめったに見かけることはありません。

今回みなさんから寄贈頂いた絵本は少しずつフランス語訳と現地語訳をしながら、教材のない近隣の小学校や幼稚園での読み聞かせに活用させて頂いています。娯楽の少ないセネガルの子ども達にとって絵本はとても新鮮なので、動物の絵本などは絵を見て日本語のままでも楽しんでいきます。現地語で読み聞かせをすると、普段落ち着きのない子ども達も食い入るように話を聞き、ページをめくるたびに歓声や笑いが起きます。子ども達が絵本を楽しんでくれていることがなによりですが、現地の先生たちも同様に絵本の魅力や効果を感じているようで「絵本はいいね、ありがとう」と毎回のようにお礼を言われます。

ティバワンヌの子ども達と先生方に代わってお礼申し上げます。ご協力本当にありがとうございました。

小湊 慎吾



■幼稚園での読み聞かせ■

現地語で読み聞かせをしています。
先生が、子どもの理解を確かめながらゆっくりと読み進めています。

読み聞かせ中は段違いの集中力をみせ、一度でも読んだ本は良く覚えています。

■小学校での読み聞かせ■

小学校ではゆっくりなら自分で読める子もいますが読むのは苦手で、自分で読むよりはウォロフ語で聞いたほうが理解が早いようです。

まずは読書に興味を持って「自分で読んでみたい」と思えるように、読み聞かせの他に図工にも取り入れています。



■休み時間だけの移動図書館■

セネガルの小学校には日本のような図書室はありません。町の図書館もありません。学校の休み時間を利用して絵本を自由に読めるように、かばんに入るだけの絵本を持っていきミニ図書館を開催しています。



■寄贈先にて届いた絵本を整理する同僚■

寄贈先であるセンターにはテコンドーや空手道場が開催されており、その練習生や近所の子ども達が放課後に時々来ます。子ども達がさっそく絵本を見つけて本をめくっています。まだ日本語のままの本がほとんどなのですが楽しそうです。

